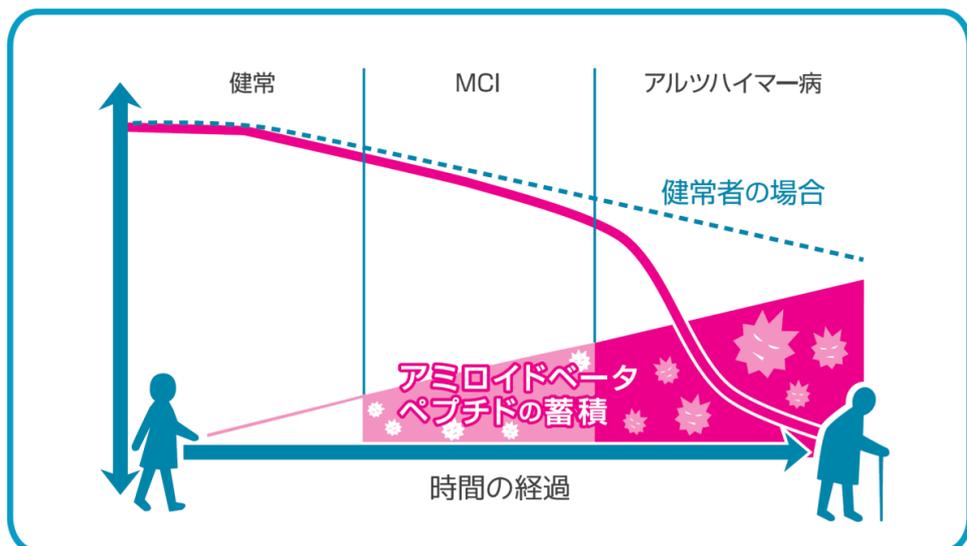


認知症予防のためのリスク検査 MCIスクリーニング検査

< MCIスクリーニング検査とは？ >

認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)のリスクを調べることの出来る血液検査です。軽度認知障害(MCI)は、健常者と認知症の中間の段階を指します。通常の日常生活には問題は有りませんが、認知症の予備軍とも言われ、そのまま放置されると5年で50%近くが認知症に進行してしまうと言われております。



しかし、最近の研究では、MCIの段階で適切な予防や治療を行えば認知症の発症を防ぐこと、遅らせることが可能と言われており、MCIの段階での対処は認知症予防の上で非常に重要です。



< MCIスクリーニング検査の特徴 >

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが脳内に蓄積されて神経細胞がダメージを受けることで発症します。本検査では、このアミロイドベータペプチドを排除する機能を持った3つのタンパク質の血中濃度を調べることでMCIのリスクを予測しております。



MCIスクリーニング検査で早期にMCIのリスクを知り、適切な対処・予防を行うことで、認知症の予防が可能になります。

〈報告レポートイメージ〉

MCBI様の検査結果
軽度認知障害(MCI)リスク判定

判定	MCIリスク値	測定項目		
		APOA1	TTR	C3
A	0.10	180	25.0	1.50
		mg/dL	mg/dL	Unit

あなたは A 判定です。リスク値は 0.10 です。
MCIのリスクはほぼありません。
今後も健康的な生活を心がけましょう。
1~2年に一回の定期的な受診をお勧めいたします。
ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう

下の図は、健康もしくはMCIと診断された方的人数比(緑:健康、黄:MCI)を表します。
▲はあなたのリスク値です。▲上の緑で、あなたのリスク値での健康もしくはMCIの人数比がわかります。

判定	基準値	説明
A	0.62未満	MCIのリスクはほぼありません。 今後も健康的な生活を心がけましょう。
B	0.62~0.72	MCIのリスクは低めです。 健康的な生活を意識して、MCIのリスクを減らしましょう。
C	0.72~0.82	MCIのリスクは中程度です。 生活習慣を見直し、直ちに予防に取り組みましょう。 物忘れなどで気になることがありましたら、専門医に診てもらいましょう。
D	0.82以上	MCIのリスクは高めです。 専門医による詳細な検査・診断を受けられることをおすすめします。

〈注意事項〉
・本検査は認知症の前段階であるMCIのリスクを判定するものです。
・MCIの診断を行うものではなく、リスクを判定する検査ですので、認知症予防に向けたひとつの目安となります。
・MCIリスク値は、測定項目の数値の組み合わせにより算出します。測定項目の数値は参考値となります。

3種類のタンパク質の測定値をもとに統計的手法で認知機能障害のリスクを判定します。判定結果はリスクに応じてA~Dの4段階にて報告致します。受診後のフォローには認知症予防のため別冊資料も提供させていただきます。



早期発見、早期対策がカギ 認知症は予防できる

認知症の危険因子と予防に働く因子

危険因子	予防に働く因子
遺伝	運動習慣
認知不安	脳刺激
読書	社会的交流
喫煙	75歳以上の認知症予防
糖尿病	認知症予防
高血圧	30分以下中等

認知症リスクを下げる習慣に及ぶ MCI スクリーニング検査

内田 邦彦

検査項目名	MCIスクリーニング検査
検体量	血清(3mL以上)
容器	生化学容器(血清)
保存(安定性)	採血後、冷蔵保存(4℃)、48時間以内に遠心、血清分注、凍結をお願いいたします。
報告期間	20日
測定・解析機関	株式会社MCBI
検査方法	ApoA1:TIA法 / C3:ELISA法 / TTR:TIA法
備考	採血後の室温放置は測定値に影響がございました。必ず冷蔵をお願いします。すでに認知症と診断されている方は検査適応外となります。また、急性障害、急性腎障害、自己免疫性腎疾患などの自己免疫性疾患(急性期)、肝硬変は検査結果に影響があることが考えられます。また、トランスサイレチン(TTR)は栄養状態で変動するため、極端なダイエットや重度の栄養不良状態などは判定結果に影響を与える可能性があります。

参考文献:

1. Uchida, K., et al. Amyloid- β sequester proteins as blood-based biomarkers of cognitive decline. *Alzheimer's & Dementia: Diagnosis, Assessment & Disease Monitoring* Volume 1, Issue 2, June 2015, Pages 270–280.
2. Song, F., et al. Plasma Apolipoprotein Levels Are Associated with Cognitive Status and Decline in a Community Cohort of Older Individuals.. *PLoS ONE*, June 2012, e34078
3. Thambisetty M, et al. Plasma Biomarkers of Brain Atrophy in Alzheimer's Disease, *PLoS ONE*, Dec 21, 2011, 0028527
4. Velayudhan L, et al. Plasma transthyretin as a candidate marker for Alzheimer's disease. *J Alzheimers Dis*. 2012;28(2):369-75. doi: 10.3233/JAD-2011-110611.